

申8号「モビリティ・サービス系統における体制見直しについて」に対する申し入れ③

【無人駅等管理体制の見直しについて】

10 新潟統括センターの社員が担っている無人駅業務の一部を業務委託となっているが、具体的に委託業務の内容と規模について明らかにすること。

(組 合) 具体的な業務内容は何か。

(会 社) 駅設備の点検、着札の回収等である。委託することで頻度は多くなると考えている。

(組 合) 防犯カメラや警察との対応は。

(会 社) 警察対応は本体で対応する。

11 新津駅を拠点とする業務担当社員を配置せず、新潟駅に集約するメリットについて明らかにすること。

(会 社) これまで異常時は緊急呼び出しで対応していたが、勤務箇所にとられない仕組みによってスケールメリットを活かした業務運営ができると考えている。

(組 合) 新津駅で行っていた月報の対応はどうか。

(会 社) 新潟駅でも月報はできるので、新津に勤務指定をしなくてもできると考えている。

12 磐越西線、羽越本線での異常時の現地派遣の足ロスについての考え方を明らかにすること。

(会 社) 過去の実績として磐越西線、羽越線において緊急呼び出しよりも早い場合もあった。集約しても対応できると考えている。

社員の労働密度が年々増えています。教育の充実、安全・サービスの向上に向けて東日本ユニオンは取り組みます。